

## 議会モニター意見(まとめ) R5.9～11月受付分

モニター項目	検討した意見(抜粋)	検討結果(公表内容)
<p>⑨その他[モニターに関して]</p>	<p>先日のモニター任期や一般質問のアンケートに関する回答を考える中で、モニターのことについて少し考えました。モニター制度が始まって二年目の途中ですが、モニターからの意見を全員から毎定例会で回収することはできていますでしょうか。正直、私も出せていない時もありますし、取り立てて気になることがなければ提出しない時もあります。</p> <p>・平日昼間なかなかリアルタイムで傍聴ができない方も多いと思います。中にはパソコンやスマートフォンから配信の見方がわからない方もいるのかな?とも思いました。任期はじめに説明会をもうけて操作の手順をレクチャーしたり、提出用紙の記入の仕方など一通りやった方がいいのではないかと思います。(紙や mail で文章の説明だと意外とスルーしたり、読んでも操作方法等はわからない人もいるのかなと思います。)</p> <p>・また、この提出用紙の提出をある程度強制にした方がいいのではないかと思います。モニターの役割を果たすために参加している訳ですし、少額とはいえ手当も出ます。せめて、会期中のどこか一日でも良いので、録画配信もありますので確認して、思うことがなければ、用紙に「意見なし」という項目も入れて、議会終了後、録画配信がスタートして10日以内に議会事務局へ提出する(期日は参考です。)ような形を取るのはいかがでしょうか。</p> <p>・議会事務局の手間になってしまうかもしれませんが、この用紙の上部が今は通年共通になっていますが、定例会ごと日付を入れ、傍聴した・しないに丸をする、意見なしの項目を追加することで毎回提出を促すというのはいかがでしょうか。</p> <p>面倒かもしれませんが、それがそもそもの役割だと思うので提案させて頂きました。今後、一般質問のアンケートをやっても未回収が多くては参考にならない気がします。</p>	<p>現況の議会モニター制度について、次の4点へのご意見として回答させていただきます。</p> <p>①議会モニターからの定例会ごと意見の回収について 現議会モニターには、意見を頂けない方もいますが、就任時の議会モニター制度の説明では、意見があるときに提出していただければよいという条件で説明させてもらっています。次期の議会モニターからは、もっと意見を頂けるように案内いたします。</p> <p>②パソコン・スマートフォンの配信傍聴の仕方、提出用紙の記入の仕方についてレクチャーをしてはどうか。 配信の傍聴の仕方や意見提出用紙の記入の仕方について、マニュアルと記入例を作成することとします。</p> <p>③定例会ごと提出用紙の意見提出をできないか。意見がない場合も(配信視聴の有無・意見無し欄を追加)提出させる。 ①の回答と同じく、次期の議会モニターから提出用紙の様式を変更します。</p> <p>④意見が出ない議会モニターもいるので、一般質問のアンケート、未回収への危惧について 一般質問の評価アンケートの実施は、見送りました。</p>

<p>①議会だより(令和5年11月発行 No.78)</p>	<p>・11ページのアンケート集計結果について 結果を公表するには回答件数が17人と少ないのではないかと感じました。 【どのくらい読んでいるか】についても少しでも読んでいないとアンケートの存在もわからないのでその他の項目が0になったのではないのでしょうか。今回の集計結果を見て議会だよりの存在のアピールが必要と感じます。</p> <p>例えば議会のインスタ等のSNSの立ち上げをし、近況を報告しながら「議会だよりを発行しました」などお知らせするのも可能ならばやってみてもいいのではと思いました。</p>	<p>議会だよりの存在のアピールについて、ご意見ありがとうございます。 紙面に市民が関わる記事や意見などを載せ、関心を持っていただくよう議会広報委員会にて検討します。</p> <p>インスタグラムを活用する議会は、少ないようです。SNS等の活用も議会広報委員会にて検討します。今現在は、議会だより発行の際、伊豆市情報メール(登録者のみ)にてホームページに掲載したお知らせとリンク先を案内しています。</p>
<p>⑨その他[モニター会議]</p>	<p>ミーティングのテーマ①の際に、鈴木議員が、メールやネットのできない環境の人もいるとおっしゃっていましたが、そういうモニターさんにこそ、ご意見を聞くのがいいのではないかと思います。どうしたらもっと関わりやすくなるのかというのは、そういった不便な状況にある方の意見の方が改善点が見つかりやすいと思います。また傍聴だけではなく、議会だよりなど手元に届くものも有りますし、ネットもラジオもできないとモニターができないことを理由にあげるなら、制度自体をやめた方がいいと思います。 ※ テーマ①は、「議会モニターの改善点について」です。</p> <p>意見を取りたいと本気で思うので有れば、ネット環境あるならメール・ないなら手紙または電話、または直接聞きに行く・ネット有りでも電話でもお願いしてみるとか。手段はあるので、それをやるかやらないかだと思います。 モニター募集時に、ネット環境ありかなしかとか把握してもよいのかと思います。また、ネット環境ありでもやり方がわからない方には、前にアンケートで送った内容を検討してもらい、活用できるようにしたらどうかと思います。</p> <p>テーマ①の際に、杉山誠議員が強制はできないとおっしゃっていましたが、世の中にはボランティアとして運営しているものも沢山あって、例をあげると、学校の読み聞かせのボランティアや、プールの監視員など、保護者全員が当番制で必ず一度はやるという形でやっているところがほとんどだと思います。どうしても当番日に急用ができてしまうなどの時には、自分で代わりを探すというやり方で運営されている所が多いと思います。</p>	<p>御意見ありがとうございました。</p> <p>意見の提出のない議会モニターには、事務局からも電話で催促してみます。応募時にメールアドレスを頂いてある議会モニターとは、メールで連絡しています。</p> <p>御意見ありがとうございました。</p>

<p>議会モニターも一年の任期の間に、4回の定例会があり、その中に傍聴できる日程が幾つもあるので、任期はじめに一日だけ必ず傍聴する日を決めてしまえばいかがでしょうか。もしくは、先の日程は仮だと思うので予定しづらいかもしれませんので、任期最初の定例会のどこか一日とか、半日とか、特定の議員だけや、委員会の1時間だけとかでもいいと思います。</p> <p>議会モニターの役割としては、やはり一度は傍聴席で様子を見てもらうことが、議会への親近感の第一歩にも繋がると思います。(特に初めて関わる方)傍聴するという行為自体がかなり特別感のあるものですし、休憩中などに、少しでも議員さんと話をする機会が距離を縮める一つかなとも思います。一度足を運べば少しはその後にも来やすくなると思います。</p>	<p>次期の議会モニターには、傍聴できる日の予定を決めて連絡をもらうようなルールも検討してみます。</p> <p>傍聴に来た新たな議会モニターには、議員からも声掛けをするようにします。</p>
<p>内容のハードルが高いのではということと敬遠される方もいるとのことと、今年は、議会報告会がママさんや高校生なども予定されているとのことですから、そういった議会と市民の会に、モニターにも参加してもらって(任意)、会の最後とかに、次期モニター募集に興味をもってもらうために、モニターにどんな活動をしていて、どんな感じなのかの体験を話してもらったら、少しは親近感を持ってもらえないだろうかと思いました。ここも、議員が日程で担当があるように、モニターも担当を決められたら良いですが、やはり難しいでしょうか…。難しいといったらやらなければそれで終わりだとも思いますので、できる限りモニターに協力を得られるといいのですが。言い出した手前、行ける限りはご協力致します。</p>	<p>今回の議会報告会は、参加者を新成人となる学生と子育て世代の保護者に限定して小規模で子育て環境などの意見を聞く目的でしたので、議会モニターへの案内はしませんでした。</p> <p>議会モニター募集の案内は行うこととします。</p>
<p>テーマ③</p> <p>情報発信は、紙(郵送物・新聞・広告・広報紙)ネット(メール・ライン・SNS)メディア(テレビ・ラジオ)と媒体がおおよそ決まっていますから、それらを駆使するしかありませんが、アンテナがなければ受信しないも同様で、受取手に興味が無ければ一方通行の発信で終わると思います。どうしたら受信してもらえるのかは、永遠の課題だと思います。</p> <p>会社などでは、紙媒体での回覧は閲覧し理解したら、必ずサインをし、サインをしたものは理解した者として扱うと割り切っています。そこまでしないと受取手に受信アンテナが立たない。だとしたら、強制はできないという優しい運営の中では、なかなか周知はむずかしいと思います。</p> <p>突飛な意見ですが、行動心理学を学んだらどうでしょう。どうしたら人は興味を持つのが判明すれば結果が得られるのでは。日常でも何も起こらない毎日に、道端でライブをやっている人がいたら、興味のある人、何かに共感した人は足を止めて気にするでしょうが、多く人は気になっても通りすぎるだけ。でも、これが喧嘩とかになると、野次馬含めて人だかりは多くなる心理と似ていると思います。</p> <p>※ テーマ③は、「議会の情報発信は足りているか？」です。</p>	<p>御意見ありがとうございました。</p>

<p>面白さより、危機感が人を引きつけるので文教の時には多くの市民が興味を持ちました。けれども、おっしゃる通り、そんな揉めるようなことはない方が良い訳で、危機感より、議会が面白いと思ってもらえる取り組みを根気よく続けることが大切だと思います。</p> <p>何が面白いと思うのか…ですが、  ・手っ取り早くYouTuberに頼む、インスタグラマーに頼む、といった強行手段  ・議会イベントを開いてみる  ・議場の開放・議長席に座って記念撮影  ・選挙アイテムの展示  ・襷を掛けて記念撮影  ・選挙カー体験  ・議員の一般質問デモンストレーション  ・歴代市長の展示  ・議員バッジの展示  ・議員の仕事の紹介  ・議員を探せ(ウォーリーを探せみたいなもの。議員は私服着用。ヒントは議員バッジをつけてもらって会場内にいる。来場者へは名前の書かれた用紙を渡し、見つかった議員は用紙にサインをする。コンプリートできた人には景品とか)もしくは  ・議員の名前当てゲーム(来場者に選挙看板のような議員の顔写真入りの用紙を渡して、名前を書き込んでもらう。ヒントはイベント会場内に、議員が使用している各自の後援会の看板の縮小を設置(写真無い人はこの時だけ簡易的に作る)。コンプリートしたら景品。もしくは正解数に寄って景品をかえる)ラスポスは市長、隠れキャラに議会事務局長とか。ゲームは議員の認知度アップにも繋がるかなど。議員は普段着、仕事がある人は仕事着を着て、伊豆市議会はこういう職業の人も議員になっているということも知ってもらう。歴代兼任職業表とかも、今後の参考にしたい人もいるかも？地物の物販、キッチンカーの出店など、議会に特価したイベントを開催してみる。個別で開催が大変なら文化祭とか、他の地元のイベントにブース出店したり、企画を持ち込んでみる。そしてその議会イベントをメディアに取材してもらう。可能ならこういうイベントをやるという告知から、イベント当日と二回取り上げってもらう。一回で終わらせず、毎年継続する。</p>	<p>面白いアイデアの提案をいただき、ありがとうございます。市内イベントに出向いて議会を紹介することも、参考にさせていただきます。</p>
<p>・月に一度、議員と市民の対談コーナーを議会だよりや、動画配信などに取り入れて市民参加型にしてしまうことで、「私、今度出るから見てね」とか、「これに出ています」という市民のアクションが拡散に繋がる可能性が増えると思います。市民を巻き込むことで、一方的な発信からは少し抜け出せるのではないかと思います。</p>	<p>議会広報委員会にて市民参加型の情報発信も課題にさせていただきます。</p>
<p>・新聞や議会だよりのQRコードを読み取るかという質問がありましたが、掲載しただけで満足してはだめだと思います。掲載したことをお知らせして行くことの方が大変です。今回こういう取り組みをしてみたので、皆さんにお知らせください等、議員自身が後援会などに発信する努力も必要だと思います。自分も自営の発信をしていますが、本当にまめに伝えていかないと絶対に伝わりません。絶対にです。議員も当番を決めて伊豆市議会の情報発信をこまめにしていかがでしょうか。</p>	<p>議員自身が市民に声掛けするように努めていきます。</p>

<p>・モニターの報酬ですが、対象者にもよると思いました。若い世代なら傍聴に来るためにはやはり仕事を休まなければならない、本来の収入は得られません。消防団とかはどうなっているのでしょうか。緊急で市のために仕事を抜けるという仕組みがモニターに反映できたりするものなのでしょうか。</p> <p>・市内企業さん等にも協力を求めて、モニターを引き受けてくれる人が出た場合には支援金が出るとか…。そこまですることではないかもしれませんが…。</p>	<p>御意見ありがとうございました。</p>
<p>なにせよ、やらなければ変わらないと思いますので、会議で毎回どうしたらいいでしょうかという質問内容に進展がなければ、形だけのモニターになるだけなので、制度自体をやる意味がないと思います。新しいモニターが参加して、今までの内容と同じ意見が出てくるようであれば、なんの進化もしていないことにもなるので、それはそれで目安にはなるのかもしれませんが、いろいろ綴らせていただきましたが、できることがあればご対応をよろしくお願いいたします。</p>	<p>議会モニター制度は、次が3年目となります。随時、制度の検証はしていきます。議会モニターの意見を活かして、少しでも開かれた議会として改善できるよう努めてまいります。</p>